

「UACJ Report 2021」発行にあたって

当社は、2021年5月12日に長期経営ビジョン「UACJ VISION 2030」と2023年度までの「第3次中期経営計画」を公表し、当社の経営理念・ありたい姿を実現するための「重要課題(マテリアリティ)」を明確にいたしました。「UACJ Report 2021」はUACJグループが社会とともに持続的に成長していくうえで「何が重要と考えているか」を中心に編集しております。

特集として、新たな中期経営計画を実現するうえで、世界的に拡大しているアルミニウム缶需要を背景としたアルミニウム缶材のグローバル展開や北米地域での自動車部品事業の拡大を取り上げ、また長期経営ビジョンの実現に向けた環境活動や人材、研究開発・DXの取り組みについても各担当役員が報告をさせていただきます。

取締役兼常務執行役員

川島 輝夫

また、社外取締役にご登場いただき、今回の長期経営ビジョンや新中期経営計画への評価、今後への期待などを語っていただきます。当社が置かれている事業環境、目指しているありたい姿、事業戦略へのご理解を深めていただければと考えております。

なお、本レポートの作成にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)が提唱する「国際統合報告フレームワーク」や経済産業省が提唱する「価値協創のための総合的開示・対話ガイダンス」などを参照しながら、組織横断的に各部門が協力して編集しています。ぜひご一読いただき、忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

CONTENTS

Overview

UACJとはどんな会社か

- 01 「UACJ Report 2021」発行にあたって／目次
- 02 UACJグループ理念
- 03 社会課題解決に貢献するアルミニウム
- 07 価値創造プロセス

Strategy

UACJはどのように成長するのか

- 09 長期経営ビジョン
- 15 トップメッセージ
- 23 財務本部長メッセージ
- 29 中期経営計画の変遷
- 31 第3次中期経営計画
- 33 特集01
消費者の環境意識の向上にともなって北米におけるアルミニウム缶需要が増加
- 35 特集02
EV化が先行する北米を中心に旺盛なアルミニウム自動車部品需要を獲得
- 37 UACJを取り巻くリスク(機会と脅威)
- 39 環境への取り組み
- 43 人材の取り組み
- 45 研究開発・DXの取り組み

Governance

どのようにガバナンスを効かせるのか

- 47 社外取締役対談①
- 49 社外取締役対談②
- 51 コーポレート・ガバナンス
- 57 リスクマネジメント
- 59 役員一覧

Data

2020年度の業績など

- 61 財務・非財務ハイライト
- 63 セグメント別ハイライト
- 65 10年間の主要財務データ
- 67 財務状況および経営成績の分析
- 75 連結財務諸表
- 79 会社情報／株式情報
- 81 FAQ(よくあるご質問)

本レポートの位置づけ



報告対象範囲

対象期間:
2020年4月1日～2021年3月31日
(一部に2021年4月以降の活動内容などを含む)

対象組織:
(株)UACJおよびその国内外の連結子会社
(一部データは個々に記載)

会計基準: 日本会計基準
発行時期: 2021年9月

将来の見通しについて

当資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

要点・概要
↑
↓
網羅・詳細

UACJグループ理念



企業理念

素材の力を引き出す技術で、
持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

目指す姿

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、
軽やかな世界へ。

価値観

- ▶ 相互の理解と尊重
- ▶ 誠実さと未来志向
- ▶ 好奇心と挑戦心